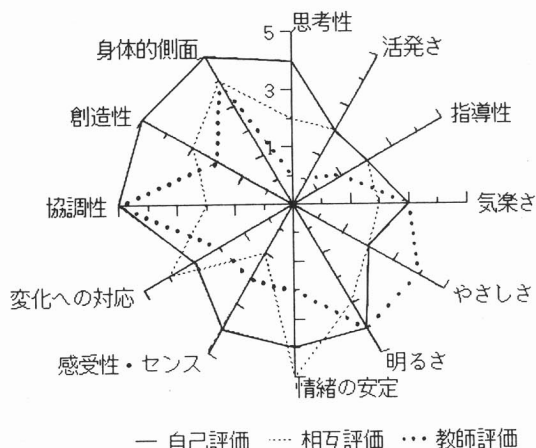
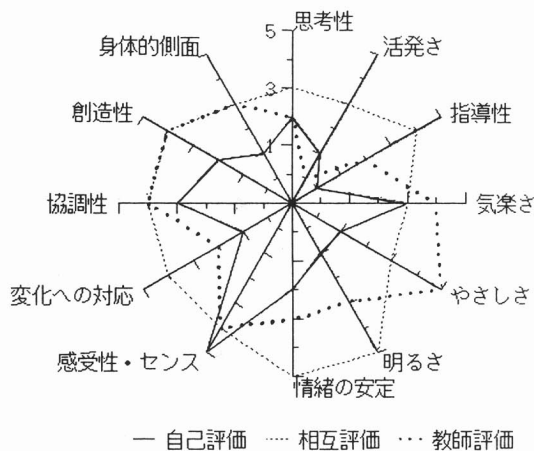


(A男のよさのレーダーグラフ)



(B子のよさのレーダーグラフ)



(3) A男とB子のプロフィール

A男は整理整頓ができなく、勉強が苦手。しかし、友達に嫌われるようないたづらをするのではなくひょうきんである。「聞いてねカード」に

A男が書いた自分のよさは、「みんなと楽しく遊べる、お母さんの手伝いをする」であった。このようなことからA男は、勉強は苦手だが友達と元気に遊ぶ天真らんまんな2年生である。

B子は勉強はできるが動作が遅く運動が苦手。言動が大人っぽいので友達とうまく遊べず、自分は友達に嫌われていると思い込んでいる。B子の「聞いてねカード」は、A男とは対称的で、「妹の面倒をみる、お金を大切に使う、悪口を言われても我慢する」などのように自分を冷静に見つめていることがよく分かる。

(4) 支援の手だて

E教諭は対称的な2人のよさを次のようにとらえた。

A男：手伝いなどを嫌がらず、困っている友達の世話をよくみる子。

B子：自分を厳しく見つめることができ、友達に親切に接しようとしている子。

そこで2人への支援の手だてを下記のように考えた。

A男：手伝いなどを嫌がらずやるよさを賞揚し、学級の中でのポジションを高めてやる。

B子：B子の親切を素直に受け入れてくれる友達で学習班をつくり、決して友達から嫌われていないという自信を持たせる。

(5) 支援の実際

以下はE教諭がA男とB子へどのように支援し、どのようなよさを伸ばさせたのかの概要である。

互いのよさを認め合える班構成